

「県立神石三和病院の移管に関する覚書」が締結されました

神石高原町と広島県は、平成20年6月11日に締結した「県立神石三和病院の移管に関する協定書」第7条の規定に基づき、広島県からの支援内容についての覚書「県立神石三和病院の移管に関する覚書」を平成20年10月14日に締結。具体的な支援内容が明らかになりました。

町は、県からの支援を受け、平成21年4月の町立病院の開院に向けて全力で取り組みます。

町立病院の開院に向けての取り組み

○医療スタッフの確保

指定管理者の医療法人社団陽正会（寺岡記念病院）と医療スタッフの確保に取り組んでいます。

○病院の一部リニューアル工事の実施

町立病院の開院に向けて改修工事を検討しています。

【主な改修工事】

- ・看板の変更
- ・1階の待合ホールの天井の改修及び照明の取替
- ・中央待合ホールに畳コーナーを設置
- ・1階の廊下、天井、壁の改修や照明の取替

【覚書の概要】

○資産の無償譲渡

広島県は、県立神石三和病院の用に供されている財産のうち、町が必要とするものを無償で譲渡する。（病院敷地・病院建物・医師公舎・看護師宿舎・職員宿舎・付属建物・医療機器及びその他動産）

○運営の支援

広島県は、町が病院を開設し運営するため必要な経費として、13億2千4百万円を交付する。（交付期間：平成20年度から平成25年度までの6年間の分割交付）

○企業債償還

県立神石三和病院の建物等の整備に伴い、県が既に借り入れた企業債の償還に要する経費は、広島県が負担する。（県立神石三和病院の建物や医療機器等の整備に伴う企業債）

○病院職員の確保

広島県は、新病院の職員確保について、経営が軌道に乗るまでの間、町の要請に基づき、必要な人的支援を行うものとする。

【町立病院の運営に関するQ&A】

○「指定管理者制度」について

Q 「指定管理者制度」とは、どのようなものですか。

A 町立病院の運営を民間事業者（医療法人等）に委託して、運営を任せることです。したがって、町立病院の運営は指定管理者の「医療法人社団陽正会（寺岡記念病院）」が行います。

Q なぜ、「指定管理者制度」を導入したのですか。

A 町は、これまで病院運営を行ったことがないため、病院運営のノウハウがありません。このため、町立病院の効率的で、健全な経営をするために、病院運営の経験がある民間事業者に運営を任せることとしました。

Q どのようなメリットが期待できますか。

- A 民間事業者が運営することで、次のようなことが期待できます。
- ① 効率的な病院運営
 - ② 病院運営に要する経費の縮減
 - ③ 民間事業者の発想による利用者に対するサービスの向上

Q 指定期間は、いつまでですか。

A 平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間で

国民健康保険中央会特別功労者表彰を受賞

10月7日、神石高原町国民健康保険運営協議会委員の安名弘行さん（下豊松）が、長年の功績により国民健康保険中央会特別功労者表彰を受賞されました。

安名弘行委員は昭和37年から旧豊松村国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険事業の円滑な運営と発展に貢献され、市町村合併後も神石高原町国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険被保険者はもとより、地域住民の健康のため活躍されています。



第84回広島県畜産共進会 盛大に開催

10月21日、第84回広島県畜産共進会が三次家畜市場で盛大に開催されました。県内各地から選抜された肉用種牛48頭、乳用牛種牛25頭が出場。神石高原町からは、肉用種子牛の部に3頭、肉用種成牛の部に4頭、乳用種第1区（未経産牛）に1頭が出品され、素晴らしい成績をおさめました。

審査の結果は次のとおりです。



肉用種 子牛の部 優秀賞 3席
8きく 高木義登さん（草木）

肉用種 子牛の部	優秀賞 3席 8きく	高木 義登（草木）
肉用種 成牛の部	優良賞 9席 ぜんきようきねん	黒田 昇（高光）
	かつただ	前原 由臣（西油木）
優良賞	4席 やまお35の42	井上栄之進（有木）
	7席 かみただみつ	前原 由臣（西油木）
優良賞	ふくしら4	池田 盛幸（城山）
	りかさかえ	伊勢村春行（古川）
乳用種 第1区（未経産牛）	優良賞 フジイライトニングコリー	藤井 鉄男（井関大介）

2008 ゆきふるさとまつり

10月26日（日）



力自慢が集まった綱引王決定戦では17チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。また、県内トップレベルのよさこいチームが大集合。艶やかなステージに観客は大盛り上がりでした。

第15回とよまつふれあいフェスティバル

10月19日（日）

快晴のなか、町内はもとより県内外から訪れた多くの家族連れらが、恒例の荷車引きレースや特産トマトの丸かじり選手権など多彩なイベントを楽しみました。



秋のイベント

第24回ふれあい神石まつり

11月9日（日）

40mの超ロング巻き寿司を作ったり、折り紙ヒコーキ教室で作った紙ヒコーキを飛ばしたりと参加した人も見ていた人も大いに盛り上がりました。他にも、丸太の早切りや芸能発表、各種出店など盛りだくさんの内容で楽しい1日となりました。



さんわふるさとフェア2008

10月26日（日）

小中学生・幼稚園児による鼓笛・吹奏楽や和太鼓の演奏をはじめ、各種団体等のステージ発表や子どもたちによる一輪車エキシビジョン、縄跳び大会で会場は大勢の人で賑わいました。

